

バイオマス利活用施設の概要[愛知県東海市 コカコーラ メタン]

作成日：平成 20 年 3 月 10 日

作成者：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

	【施設名称】 メタン発酵処理設備
	【事業主体】 コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
	【所在地】 愛知県東海市
	【運転開始年】 2004 年
原材料および利用量	茶、コーヒー粕 2,377t/年、 排水汚泥(含水率96%) 4,698t/年
生産物(種類)	メタンガス、土壌改良材
利用方法	飲料工場より発生するコーヒー豆粕・茶粕等のバイオマスを原料としてメタン発酵処理によりバイオガスに変換する。発生したバイオガスはガスボイラーにより熱回収し、又、ガスエンジンの発電機により電力回収を行う。
導入目的・経緯	従来法ではコーヒー豆粕や茶粕などを直接メタン発酵槽に投入しても発酵は進まないが、前処理として原料を2段階粉碎することにより発酵効率を高める。NEDOとの共同研究事業として清涼飲料業界として初導入。
設備仕様	バイオガスボイラー：貫流蒸気ボイラー × 2 基、700kg/h バイオガス発電機：出力 6 Kw × 1 基
稼働状況	茶、コーヒー粕 2,377t/年、排水汚泥(含水率 96%) 4,698t/年
経済性関連データ	有機性廃棄物処理費用削減 41,944千円/年
導入効果	地球温暖化対策、環境保全、資源循環に貢献。
運営上の課題	特になし
備考・参考資料	NEDO：バイオマス等未活用エネルギー実証試験 概要